



伊勢崎市立名和小学校 学校通信 第24号 令和4年11月21日

名和小だより

学校教育目標 よく考え工夫する子 思いやりのある子 がんばりのきく子
(未来のための三つの心 **自立心** **向上心** **思いやりの心**)

気持ちに負けずに頑張りました

17日(木)青空の下、マラソンにはちょうどよい天気となりました。今日のために毎日の20分休みの練習や体育の授業、時には、家の周りを走って練習した人、登校後校庭を走っていた人等それぞれの目標を持ち、走ることができました。「気持ちに負けず」これは走った人全員が経験できたことだと思います。走るのが得意な人も苦手な人も走っているときは自分との戦いです。目標に対してくじけそうになった時、走るのが苦手な



参加するまでの葛藤等、参加した子ども達はそれぞれに自分の気持ちと向き合い、その中で自分のやるべきことを選択して頑張りました。結果は満足できる人もいれば、悔しい思いをした人、それぞれだと思いますが、参加するまでに頑張れたことが必ずあります。自分でできたこと、達成できたことは何か、どうしてそれができたのかを振り返り、次の活動の場面で活かしてほしいです。

大会当日は多くの保護者の方から温かいご声援をいただき子ども達も気持ちよく走ることができました。また、ご家庭での励ましや声かけも子ども達の大きな力となって頑張ることができました。ありがとうございました。

尚、PTA 学級委員の方には走路の安全確保をしていただきありがとうございました。



5年生 元オリンピック選手 諏訪利成さんの話を聞きました

8日(火)6校時にアテネオリンピックマラソンで6位に入賞し、現在は上武大学の駅伝部の監督をしています諏訪利成さんが5年生にオリンピック選手になるまでの話をしていただきました。中学時代から特に速かったわけではなく、身近な友だちより速く走りたいという思いから

陸上部に入り、校内のマラソン大会で1位をとるとい目標を立てて本格的な陸上競技がスタートしたそうです。中学時代、高校時代、大学時代における目標の立て方を丁寧に分かりやすく話してくれました。将来の目標を各年代でも持ち続け、そのために今すべき目標を具体的に立てていました。目標に対する成功や挫折をオリンピック選手でも繰り返していることを聞き、子ども達は大きな可能性を持つことができたのではないかと思います。



2年生 ザスパの選手と楽しくサッカー

8日(火)2校時にザスパの選手が2名来校し、2年生とボール遊びをしました。やはりこの頃の年代は、色々な運動をして体の中に張り巡らされている運動神経をより速く、より正確に動かせるようにしていくことが今後の活動により影響を与えていきます。その様な



視点からも、ボールを色々なところで触ったり、投げたり、蹴ったり、体の複雑な動きをしたりするなどして楽しくボール遊びをすることができました。



4年生の素晴らしいハーモニー

15日(火)伊勢崎市小・中・特別支援学校合同音楽会が市民文化会館で開催されました。境北中・境采女小・広瀬小・名和小の4校でそれぞれの合唱を発表しました。中学生の人数は少なかったのですが声量やハーモニー等、子ども達は聞き入っていました。名和小4年生の発表は、落ち着いた姿勢で堂々と聞かせることができました。



1曲目「DabidubaDubiduba」は軽快なリズムに乗り体を揺らして楽しそうに歌っていました。これは学校で全校に披露したときも、見ている児童が一緒になって体を揺らしてました。2曲目「僕にできること」は1曲目とは対称的で小学生らしからぬしっとりとした歌声で会場を包み込むような感じで歌い上げていました。緊張する中での合唱ですが、終わったときには「気持ちよかった」「緊張したけど楽しかった」など子ども達はその場の雰囲気をしっかりと感じ味わえたことは素晴らしい経験となりました。

- | | | | | |
|-----|--------------------|----|----|----|
| 1曲目 | 「DabidubaDubiduba」 | 伴奏 | 藤森 | 万緒 |
| 2曲目 | 「僕にできること」 | 伴奏 | 石川 | りる |



【上毛新聞 俳句 掲載】

夕暮れや かがんで拾う 初もみじ

6年 坂上 輝衣